



150カ国を巡って得たもの 英語の重要性を訴える

酒東高創立102年記念講演会

世界見聞録〜予測不能時代の旅人たちへ

矢野さん旅行社添乗員時代の経験振り返る

酒田市の酒田東高校(大山根一校長、生徒487人)で24日、創立102年を記念した講演会が行われ、同市の矢野慶汰若葉旅館専務(酒田市本町二丁目)が生徒たちに自らの経験などを伝えた。

矢野専務は東京都出身。米国立アリゾナ大社会学部社会学専攻。社会学専攻。帰国後、勤務した旅行代理店・ユーラシア旅行社(東

京都千代田区)では添乗員として世界150カ国をアテンド。2015年に酒田の老舗旅館・若葉旅館の若女将と結婚し、酒田に移住した。現在、酒田商工会議所青年部会長なども務める。

この日は全校生徒が参加。

矢野専務が「世界見聞録〜予測不能時代の旅人たちへ〜」と題して講演した。矢野専務は自身のこれまでの経験などを紹介しながら、

「10代は多くのものを吸収できる時期。皆さんの脳ほど優秀なデバイスはない。英語は世界言語として今後

も重要になるので一生懸命勉強してほしい」とアドバイス。また、「ポストコロナの時代は、変動・不確実

・複雑・曖昧のVUCA(ブーカ)の時代。予測不能の時代を生き抜くためには自己肯定感が必要。自分

のポテンシャルや能力を大事にしてほしい。日本の常識は世界の常識ではなく、

これまでの常識は本当に常識

講演する矢野専務

識なのか考えることが重要。常識は国によっても時代によっても変わる。今後はそうしたものがかつかわと音を立てて崩れる時代になるかもしれない」と話し、生徒たちは熱心に耳を傾けていた。

庄内日報(令和4年11月26日 土曜日)より転載